

平成30年産米等の作付動向について（第2回中間的取組状況）

農林水産省は、本日、平成30年産における各都道府県の主食用米、戦略作物等の作付動向について、第2回中間的取組状況（平成30年4月末現在）を取りまとめました。

1. 趣旨

農林水産省では、産地・生産者が主体的に作付を判断し、需要に応じた生産・販売を行うことができるよう、きめ細やかな情報提供を行うこととし、その一環として、都道府県農業再生協議会及び地域農業再生協議会からの聞き取りに基づき、都道府県別及び地域農業再生協議会別の作付動向（中間的取組状況）を公表しています。

平成30年産においては、都道府県別の作付動向（平成30年1月末現在）を第1回中間的取組状況として2月に公表を行ったところです。

この度、第2回中間的取組状況として、都道府県別に加え、地域農業再生協議会別の4月末現在の作付動向を公表します。

各産地・生産者におかれては、今回の公表結果を参考にされ、需要に応じた生産・販売へ向けた取組をより一層進めていただくことが期待されます。

2. 都道府県別の作付動向（平成30年4月末現在）

(1) 各都道府県の主食用米の作付動向は、平成29年産実績と比較すると以下のとおりと見込まれています。

増加傾向6県／前年並み傾向34県／減少傾向7県

(2) 各都道府県の戦略作物等の作付動向は、平成29年産実績と比較すると、以下のとおりと見込まれています。

ア. 飼料用米

増加傾向9県／前年並み傾向14県／減少傾向22県

イ. 加工用米

増加傾向19県／前年並み傾向7県／減少傾向16県

ウ. WCS

増加傾向15県／前年並み傾向13県／減少傾向15県

エ. 新市場開拓用米（輸出用米等）

増加傾向32県／前年並み傾向2県／減少傾向2県

オ. 麦

増加傾向14県／前年並み傾向17県／減少傾向14県

カ. 大豆

増加傾向15県／前年並み傾向17県／減少傾向13県

キ. 備蓄米

増加傾向0県／前年並み傾向1県／減少傾向31県

（注）「麦」「大豆」については、二毛作面積を含む。

3. 地域農業再生協議会別の作付動向（平成30年4月末現在）

地域農業再生協議会別の作付動向の詳細については、以下を御覧ください。

- ア. 北海道 (<http://www.maff.go.jp/hokkaido/syokuryo/jyukyu.html>)
- イ. 東北ブロック (http://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/komeseisaku/sakutuke_doko.html)
(青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県)
- ウ. 関東ブロック (<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komeseisaku/sakudou.html>)
(茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・長野県・静岡県)
- エ. 北陸ブロック (<http://www.maff.go.jp/hokuriku/seisan/kaikaku/sakudou.html>)
(新潟県・富山県・石川県・福井県)
- オ. 東海ブロック (<http://www.maff.go.jp/tokai/seisan/shinko/kome/sakutsuke/index.html>)
(岐阜県・愛知県・三重県)
- カ. 近畿ブロック
(http://www.maff.go.jp/kinki/seisan/nousan/inemugi/sakutukedoko/sakutuke_doko.html)
(滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県)
- キ. 中国四国ブロック (http://www.maff.go.jp/chushi/kome/saku_dou.html)
(鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県)
- ク. 九州ブロック (<http://www.maff.go.jp/kyusyu/seiryuu/komeseisaku/komeseisaku.html>)
(福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県)
- ケ. 沖縄県（外部リンク）
(<http://www.ogb.go.jp/nousui/nouchiku/6610/6613/006614/sakudou>)

<添付資料>

平成30年産米等の第2回中間的取組状況（平成30年4月末現在）

【お問合せ先】

政策統括官付穀物課水田農業対策室

担当者：上杉、海老原、齋藤

代表：03-3502-8111（内線4778）

ダイヤルイン：03-6744-7135

FAX：03-6744-2523

平成30年産米等の第2回中間的取組状況(平成30年4月末現在)

都道府県	主食用米		戦略作物											備蓄米		
	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	飼料用米		加工用米		WCS		新市場開拓用米 (輸出用米等)		麦		大豆		29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)
			29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)		
北海道	98,600	→	2,433	↓	5,279	↓	500	↑	22	↑	32,465	↑	19,109	↓	-	-
青森	38,000	↑	6,418	↓	1,738	↓	656	↑	17	↑	797	↓	4,532	↑	3,622	↓
岩手	47,000	↑	4,676	↓	1,485	↓	1,645	↓	113	↑	3,613	↓	3,825	→	1,152	↓
宮城	63,500	→	6,228	↓	1,035	→	2,147	↓	17	↑	2,152	↑	10,731	↓	1,722	↓
秋田	69,500	↑	2,865	↓	10,683	↓	1,245	↓	101	↑	338	↑	7,999	→	6,362	↓
山形	56,400	→	3,916	→	4,018	↑	885	→	116	↑	99	↓	4,888	→	3,816	↓
福島	59,900	↑	5,839	↓	281	↑	1,122	↓	-	↑	198	→	852	↓	3,818	↓
茨城	66,400	→	8,504	↓	1,403	↓	609	↓	45	↑	4,925	↓	2,555	↓	162	↓
栃木	53,600	→	10,054	↓	1,829	↑	1,710	↓	2	↑	11,221	↓	2,324	↓	1,810	↓
群馬	13,900	→	1,541	↓	1,390	↓	556	↓	0	→	6,792	→	108	↑	5	↓
埼玉	30,700	→	2,264	↓	248	↑	119	↑	0	↑	4,351	↓	430	↑	59	↓
千葉	53,300	→	5,051	↑	1,479	→	1,123	→	0	↑	552	↓	573	↑	256	↓
東京	141	↓	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	3,090	→	19	→	-	-	-	-	-	-	4	→	9	→	-	-
新潟	100,300	↑	4,178	↓	6,989	↑	370	↑	647	↑	254	↓	4,740	↓	5,760	↓
富山	33,300	→	1,085	↑	1,515	↑	411	→	126	↑	3,450	↓	4,756	→	2,528	↓
石川	23,200	→	726	↓	760	→	96	→	9	↑	1,088	→	1,242	→	1,277	↓
福井	23,300	→	1,295	↑	671	↑	122	↑	9	↑	5,280	↓	1,712	↑	833	↓
山梨	4,880	→	18	→	68	↑	11	↑	-	-	50	↑	115	↑	-	-
長野	31,300	→	319	↓	825	↓	252	↓	20	↑	2,393	→	1,512	↑	161	↓
岐阜	21,500	→	3,047	↓	316	↑	225	→	0	↑	3,427	→	2,801	→	76	↓
静岡	15,600	→	1,180	→	107	↑	404	↓	0	→	686	→	148	→	4	↓
愛知	26,600	→	1,780	→	571	↓	203	↓	17	↑	5,522	→	4,234	→	138	↓
三重	26,800	→	1,902	→	377	↓	239	↑	28	↑	6,646	→	4,403	↓	84	↓

(注1) 主食用米、戦略作物及び備蓄米の「30年産の動向(対前年実績)」は、29年産作付実績と比較し、「↑:増加傾向」、「→:前年並み傾向」、「↓:減少傾向」で分類。

(注2) 主食用米の「29年産実績(ha)」は、平成29年12月5日統計部公表の主食用作物面積。

(注3) 飼料用米、加工用米、WCS、新市場開拓用米の「29年産実績(ha)」は、平成29年産新規需要米の取組計画認定面積。麦・大豆の「29年産実績(ha)」は、平成29年度経営所得安定対策等の加入申請面積で、二毛作を含む。

(注4) 備蓄米の「29年産実績(ha)」は、地域農業再生協議会が把握した面積。

平成30年産米等の第2回中間的取組状況(平成30年4月末現在)

都道府県	主食用米		戦略作物										備蓄米			
	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	飼料用米		加工用米		WCS		新市場開拓用米 (輸出用米等)		麦		大豆		29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)
			29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)		
滋賀	30,000	→	998	↗	1,277	↗	261	→	31	↗	7,716	→	6,490	→	277	↘
京都	14,100	→	141	→	538	↗	108	→	-	↗	246	→	213	↗	-	-
大阪	5,150	↘	7	→	-	-	-	-	-	-	1	→	6	→	-	-
兵庫	35,100	→	327	↘	688	↘	775	→	7	↗	2,390	↘	2,073	→	-	-
奈良	8,580	→	67	→	-	↗	55	↘	-	-	106	→	49	↘	-	-
和歌山	6,560	↘	4	→	-	-	2	↗	-	-	1	↗	16	↘	-	-
鳥取	12,400	↗	1,087	↘	96	↘	373	→	-	-	122	→	658	→	101	↘
島根	17,200	→	1,133	↘	332	↘	507	↗	0	↘	588	↘	591	↘	30	↘
岡山	29,100	→	1,589	↗	439	↗	421	↘	0	↗	2,808	↗	1,310	↗	403	↘
広島	23,100	→	552	→	401	→	541	↗	1	↗	244	↗	408	↘	-	-
山口	19,300	↘	836	↗	996	↘	313	↘	-	↗	1,763	↗	842	↗	-	-
徳島	11,300	→	729	↘	21	↘	220	↘	-	↗	116	↘	26	↘	243	↘
香川	12,800	→	268	↘	46	↗	103	↗	0	↘	2,498	↗	56	→	-	-
愛媛	13,900	→	365	→	30	↗	145	↘	0	↗	1,909	→	324	↗	14	↘
高知	11,500	↘	996	→	73	→	225	→	-	-	8	→	71	→	2	→
福岡	35,100	→	2,019	↗	379	↘	1,473	→	0	↗	21,036	↗	8,337	↗	47	↘
佐賀	24,400	→	569	↗	111	↗	1,237	↗	-	↗	20,338	→	8,226	→	64	↘
長崎	11,600	→	168	→	7	→	1,127	↗	-	-	995	↗	351	↗	10	↘
熊本	32,200	→	1,402	↗	866	↘	7,629	↗	0	↗	6,247	↗	2,086	↗	74	↘
大分	20,900	→	1,521	↘	93	→	2,455	→	-	-	4,453	↗	1,515	↘	33	↘
宮崎	15,000	↘	528	↘	1,244	↗	6,614	→	-	↗	112	↗	189	↗	-	-
鹿児島	19,600	↘	866	↘	814	↗	3,657	↗	-	↗	111	↘	274	→	-	-
沖縄	727	→	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国計	137.0万 (138.7万)※		91,510		51,517		42,893		1,328		170,110		117,710		34,943	

※ 29年産米の生産数量目標

(注1) 主食用米、戦略作物及び備蓄米の「30年産の動向(対前年実績)」は、29年産作付実績と比較し、「↗:増加傾向」、「→:前年並み傾向」、「↘:減少傾向」で分類。

(注2) 主食用米の「29年産実績(ha)」は、平成29年12月5日統計部公表の主食用作付面積。

(注3) 飼料用米、加工用米、WCS、新市場開拓用米の「29年産実績(ha)」は、平成29年産新規需要米の取組計画認定面積。麦・大豆の「29年産実績(ha)」は、平成29年度経営所得安定対策等の加入申請面積で、二毛作を含む。

(注4) 備蓄米の「29年産実績(ha)」は、地域農業再生協議会が把握した面積。